

FRIENDSHIP NEWS

フレンドシップニュース

埼玉県から世界へ向けて

2023
6月号
No.133



公益財団法人
埼玉県国際交流協会
Saitama International Association



埼玉県内には、令和4年末で全国5位の21万2千人の外国人が暮らしており、県民の34人に1人が外国人です。

(法務省統計より)

特集 令和4年度 事業報告



令和4年度は、引続き新型コロナウイルス感染症の影響が続いていましたが、埼玉県の在留外国人数は21万2千人と過去最高を記録しました。埼玉県は、変わらず多くの外国人の生活の場となっていることが分かります。外国人を含むすべての人が地域社会の担い手としてそれぞれの能力を発揮できるように、令和4年度も総合的な支援の充実に取り組みました。

地域日本語教室支援事業の実施

地域日本語教室は、在住外国人にとって日本語を学ぶだけの場所ではありません。慣れない日本での暮らしの中で、ちょっとした疑問に答えてくれたり、顔見知りに出会ったりする大切な居場所にもなっています。協会では埼玉県からの委託を受け、地域の外国人が日本語学習にアクセスしやすい環境づくりを目指しました。



参加者の声

〈初心者向け講座〉

- ・「日本語教室」というより、居場所づくり、コミュニケーションが大事だということがわかった
- ・肩に力を入れることなく、教室に参加できそう
- ・学習者によって必要な日本語のニーズを知って、それに応えることが必要

〈経験者向け講座〉

- ・オンラインで利用できる教材ややり方について、たくさんヒントをもらえた
- ・入国管理制度は、学習者をもっと知るうえで大切なこと。今後の教室運営に反映したい

〈課題解決型〉

- ・外国人が実際にグループに入って学べたことは、実践に繋がった

●地域日本語教室ボランティア研修の実施

これからボランティアを始める方向けの「初心者向け講座」を3回（会場とオンラインの併催）、すでに活動されている方向けの「経験者向け講座」を2回（オンライン）、日本語ボランティアが多く抱える課題に特化した「課題解決型講座」を1回（会場）、それぞれ開催し、計493人にご参加いただきました。

●地域日本語教室相談・立ち上げアドバイザーの派遣

地域で新しく日本語教室を立ち上げる際や、既存の教室の運営方法等の相談に乗るアドバイザーを3市町及び日本語教室等2者の依頼により派遣しました。

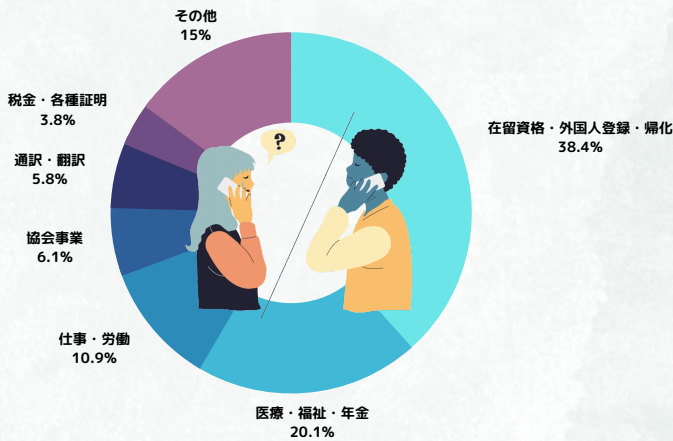
多言語により在住外国人の様々な相談に対応 外国人総合相談センター埼玉

☎048-833-3296
(月)~(金) 9:00-16:00

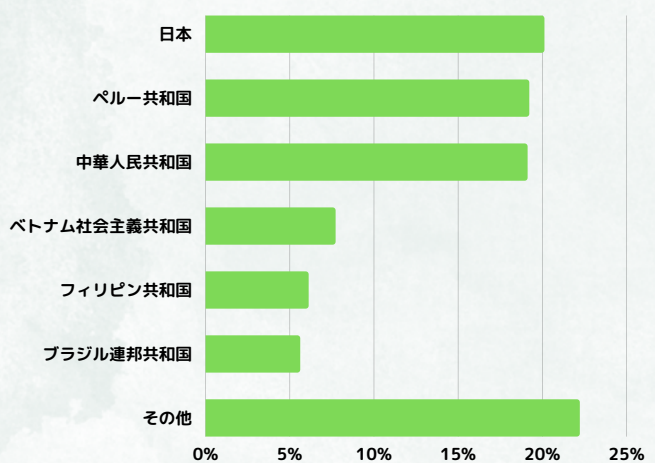
埼玉県に暮らす全ての方が言葉の壁にかかわらず活躍できるように、生活全般の電話相談や公共機関窓口との仲介通訳を実施しました。また、出入国制度や労働問題などの専門家による相談を、多言語によりワンストップで対応しました。

対応言語：**13言語**（英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語、韓国・朝鮮語、タガログ語、タイ語、ベトナム語、ネパール語、インドネシア語、ロシア語、ウクライナ語、やさしい日本語）

相談内容別割合



国籍別割合



○全相談件数**6,224件**のうち 専門相談の件数：**1,241件**
(入国管理：1,202件、労働：13件、法律：25件、福祉：1件)

日本語を母語としない子どもと保護者の高校進学ガイダンス

日本語を母語としない子どもとその保護者を対象に日本の高校進学のための情報などを提供するガイダンスを開催しました。当日は感染症予防対策を徹底し、密を避けるため2部制及び完全予約制としました。高校進学に関する資料は、7か国語（日本語、英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語、タガログ語、ベトナム語）で作成し、配布しました。

また新たにFRESC（外国人在留支援センター）から、高校卒業後の進路に関する情報提供を行いました。

○参加者：**183人**

(令和4年8月6日 大宮ソニックシティで開催)



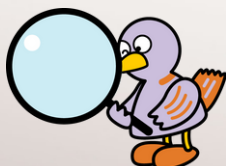
前半は入学試験・学費などの説明、先輩の体験談発表を行いました。後半の個別相談では、学校ブース（公立高校11校）、奨学金ブース、日本語教室紹介ブース等があり、参加者は希望する話を聞きました。



「外国人住民支援ニーズ把握調査」実施事業

日本語力が十分でない外国人を支援するため、当事者である県内在住外国人をはじめ、外国人住民支援を行っている民間(NGO)団体、通訳翻訳ボランティア、外国人雇用に関心のある県内企業等、県内市町村及び市町村教育委員会を対象とした調査を実施し、WEB回答により、総数1,102件のご意見を聞くことができました。

調査対象	標本数	回答数	回答率
外国人住民（無作為抽出）	3,000件	376件	12.50%
NGO等	246件	110件	44.70%
通訳翻訳ボランティア	1,012件	292件	28.90%
企業等	1,059件	211件	19.90%
市町村 国際施策担当者	63件	57件	90.50%
市町村 教育委員会担当者	63件	56件	88.90%



調査の結果は、協会ホームページでも見ることができます。
<https://sia1.jp/topics/tyousahoukoku2022/>



調査の結果を受けて
令和5年度には、外国にルーツを持つ、日本語が不自由な中学生を対象としたオンラインでの日本語指導を実施する予定です。

なお、この事業は自治体国際化協会の助成を受けて実施しました。

「世界へのトビラ」事業 外国人講師等の派遣

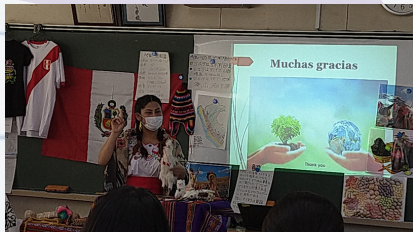


学校や地域での国際理解教育を支援するため、授業等に外国人県民や青年海外協力隊元隊員等を講師として派遣しています。昨年度同様、新型コロナウイルスの感染対策に留意しながら派遣を実施しました。

世界へのトビラ

検索

○延べ**124**人の講師が教育現場で国際理解教育を支援しました。派遣先は小学校**4**件、中学校**12**件、高等学校**7**件、その他**6**件の合計**29**件で、参加人数は**4,306**人です。



参加者の声

- ・国や文化は違っても、中学生時代は、日本の中学生と似たような生活をしていることが分かり共通点を改めて感じる事ができた。
- ・アルゼンチンには、きれいな世界遺産や自然が多いと知ったので、私も環境に気を使いそれらを守れるようにしたい。そしていつか見に行ってみたい！
- ・人にはそれぞれの物語があって、互いに違いを尊重できるグローバルな人を目指したいと思いました。

ホームステイボランティア (ホストファミリー) の紹介



グローバル人材育成センター埼玉 (GGS) 会員大学の外国人留学生や国際交流基金日本語国際交流センターの研修生を対象に、当協会に登録しているホストファミリーを紹介しました。

新型コロナウイルスへの感染状況を考慮し一部をオンライン交流やホームビジットに変更しながらも、宿泊を伴うホームステイを実施することができ、ゲストの日本文化に対する理解を深める機会を設けると共に、ホストファミリーの皆さんも外国人との交流を楽しみました。



★ホームステイ 5回
参加ゲスト108名
参加家庭98家庭

★ホームビジット 2回
参加ゲスト47名
参加家庭 36家庭

★オンライン交流 1回
参加ゲスト33名
参加家庭32家庭

<ホスト>・一生懸命日本語で、自分の国の美味しいものや文化・言語について、日本への気持ちをたくさん教えてくださいました。

・国籍はもちろん、その他にも異なる年齢、環境、知識、経験など、全てを超えて交流できるホームステイプログラムは、本当に有意義だと感じます。

<ゲスト>・最初は緊張していましたが、ホストファミリーがとても親切で、とても楽しく、新しいことを学ぶことができました。

・日本人と一緒に本物の日本家屋に住むという体験は本当に素晴らしく、一緒に過ごした時間に感謝しています。

参加者の声

通訳・翻訳ボランティアの紹介



病院や学校などの公的機関からの依頼に対し、登録いただいている通訳・翻訳ボランティアを紹介するとともに災害時多言語情報センター運営訓練にもご協力いただきました。

○紹介件数：159件 (紹介人数：159人)

(法律相談：96件、医療・福祉：47件、学校・教育：11件、国際交流・イベント：5件)

○通訳・翻訳ボランティア登録者数：1,269人
(34言語)

★「災害時多言語情報センター運営訓練」では、通訳・翻訳ボランティア41名にご参加いただき、被災者への多言語情報の提供を想定し、オンライン上での翻訳作業を実施していただきました。(R5.3.9実施)

トルコ語、ウルドゥー語など少数言語の依頼が増えていきます！活動可能な方の登録をお願いします。



彩の国さいたま国際協力基金助成事業

埼玉県内に活動の拠点を置く民間団体が行う国際協力事業5事業に対し、1,793千円の助成を行いました。

	助成団体数	助成事業数	助成額
海外協力事業	4団体	4事業	1,688千円
県内協力事業	1団体	1事業	105千円

～活用事例紹介～

NPO 法人YOU&ME ファミリー（バングラデシュ）
ガジプールの幼小中学校におけるコロナ対策プロジェクト
教育環境の改善



写真はバングラデシュ ガジプール地域の学校で行われた清掃活動の様子です。助成金はコロナ禍の休校によって汚れてしまった学校の机やイス、清掃道具の購入などに活用されました。
清掃活動によって、生徒の公衆衛生の意識や学習意欲が高まりました。



国際フェア2022@オンライン

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった「国際フェア」に代えて、「国際フェア@オンライン」と題してNGOの皆様の活動PR動画を掲載しています。
<https://sia1.jp/residents/fair/fair2021/>



今年は4年ぶりにスーパーアリーナで開催予定です。お楽しみに！

国際的に活躍できる人材の育成



グローバル人材育成センター埼玉では、日本人学生と外国人留学生の両者を対象に、留学前から留学後の就職までをトータルに支援し、グローバル人材の活躍を推進しました。

○日本人留学生の支援

日本人学生の海外留学を資金面から支援するため、「埼玉発世界行き」奨学金の奨学生を募集し、**142名**が奨学生として内定しました。

○就職支援（無料職業紹介）

学生登録数：**605**人、求人登録：**211**人
県内企業への内定：**48**社、**67**件
マッチング件数：**82**社、**1,069**件（うち内定**13**社、**21**件）
就職相談等：**904**件

○外国人留学生出前講座

子ども食堂や放課後児童クラブなどの児童と県内外国人留学生との交流会を行いました。
派遣学生：**25**名、参加児童：**159**名

○日本語教室での日本語指導体験

高校生の日本語教室体験を行いました。
開催（対面・オンライン）：**10**回、参加高校生：**29**名



協会の最新情報は、当協会のホームページ及びSNS（Facebook、Twitter、LINE）でお知らせしています。ご興味のある方はぜひご登録ください。



HP(<https://sia1.jp/>)



Facebook



Twitter



LINE

公益財団法人 埼玉県国際交流協会

Saitama International Association
〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和5-6-5 埼玉県浦和合同庁舎3階
TEL：048-833-2992 FAX：048-833-3291 ✉：sia@sia1.jp

バックナンバーはこちら！
<https://sia1.jp/t-pu-f/>

